



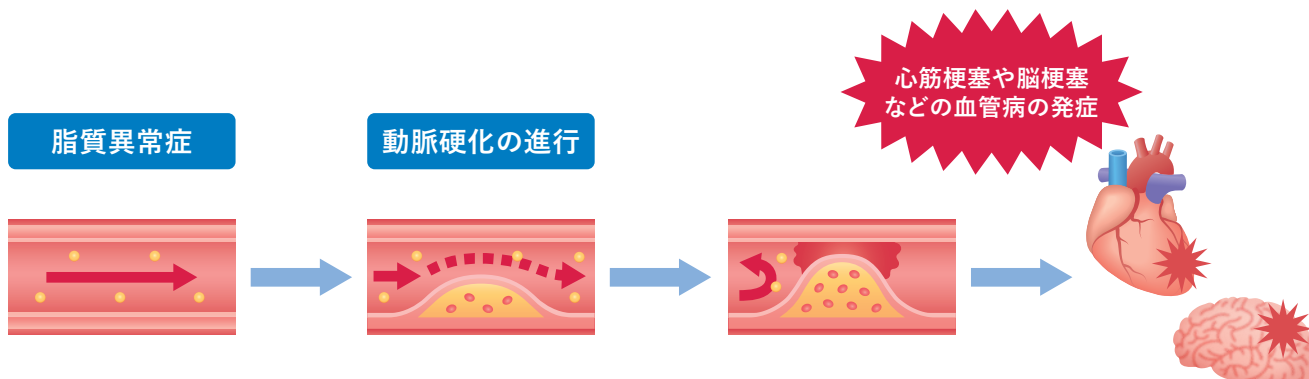
心筋梗塞・不安定狭心症患者さんで
脂質管理目標値(LDLコレステロール値70mg/dL未満)を
達成していない患者さんへ

一歩先の 脂質管理ガイド

あなたが目指すLDLコレステロール値は
70mg/dL未満です

脂質異常症とは？

血液に含まれる脂質（血中脂質）のうち、コレステロールと中性脂肪量のバランスに異常がある状態をいいます。体調に変化を感じにくいことからそのまま放置してしまうケースの多い病気ですが、適切な処置をしないまましていると、血管の壁にコレステロールがたまることで動脈硬化が進行し、心筋梗塞や不安定狭心症、脳梗塞などといった命に関わる深刻な病気の原因となります。

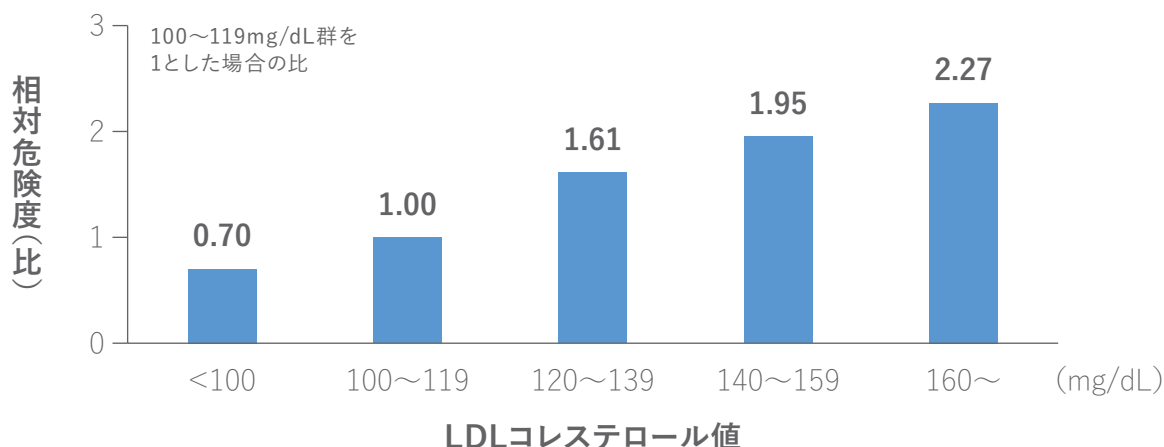


再発リスクを上げるLDLコレステロール

コレステロールの中でもLDLコレステロールは、肝臓でつくられたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っていますが、増えすぎると動脈硬化の原因となることから、「悪玉コレステロール」とも呼ばれます。実際に、一度心筋梗塞や狭心症を発症した患者さんにおいてLDLコレステロール値が高くなるほど、再発リスクが上昇することが報告されています¹⁾。

1) Mabuchi H et al. Circ J 2002; 66: 1096-1100.

図：LDLコレステロール値と心血管病発症率の関係



相対危険度：ある原因により、それを受けた個人のリスク（危険度）が何倍高まるか、ということを表したもの。

Mabuchi H et al. Circ J 2002; 66: 1096-1100. より作図

反対に、LDLコレステロール値を低下させると心筋梗塞・狭心症の発症が抑えられることが、様々な臨床試験で明らかになっています。

心筋梗塞などの再発を防ぐために、LDLコレステロール値を低値に保ちましょう。

あなたが目指すLDLコレステロール値²⁾

70mg/dL未満



**LDLコレステロール値70mg/dL未満を
考慮すべき病態として、**

**「心筋梗塞」「狭心症（不安定狭心症の方）」が
挙げられています*。**

*LDLコレステロール値70mg/dL未満を考慮すべき病態として、この他に「家族性高コレステロール血症」「糖尿病」「アテローム血栓性脳梗塞」が挙げられています。

※健康診断基準値は健常人の基準値であり、心筋梗塞・狭心症を起こした高コレステロール血症の患者さんには、脂質管理目標値が定められています。

心筋梗塞・不安定狭心症の再発予防には、 食事療法、運動療法、薬物治療が大切です²⁾

運動療法

日常生活の中で身体活動を増やす工夫を行い、中強度*以上の有酸素運動を習慣にすることが、動脈硬化性疾患予防に有効と考えられています。

*通常速度のウォーキング(=歩行)に相当する運動強度

食事療法

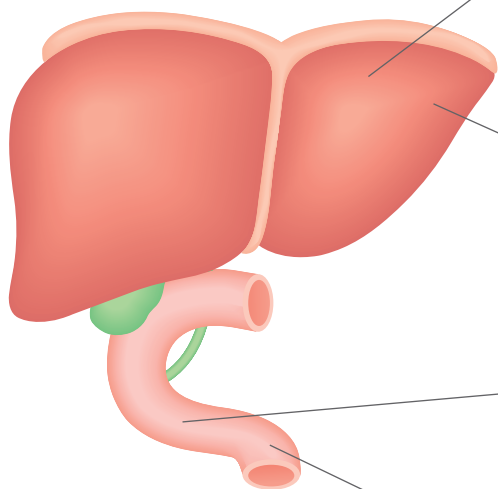
食事療法は、再発の原因となる動脈硬化性疾患、脂質異常症などの予防と治療に有効と考えられています。

薬物治療

患者さんの合併症や個々の状態を考慮して、お薬で治療を行います。

目標値を達成するために、 適切な薬物治療について主治医と相談しましょう

第一選択として推奨されている薬物治療はスタチン（HMG-CoA還元酵素阻害薬）ですが、効果が得られない場合やリスクの高い患者さんでLDLコレステロール値が脂質管理目標値に達しない場合は、患者さんの状態に応じて、PCSK9阻害薬、小腸コレステロールトランスポーター阻害薬、陰イオン交換樹脂（レジン）などの併用が考慮されます。



スタチン（HMG-CoA還元酵素阻害薬）

コレステロール合成に関わるHMG-CoA還元酵素を阻害することにより、肝臓でのコレステロールの合成を阻害します。

PCSK9阻害薬

LDL受容体を分解する酵素（PCSK9）のはたらきを阻害することで、LDLの肝臓への取り込みを増やして、血中のLDLコレステロール値の低下を促します。

陰イオン交換樹脂（レジン）

腸管内で胆汁酸と結合して、腸内での胆汁酸とコレステロールの吸収を阻害し、体外への排泄を促進します。

小腸コレステロールトランスポーター阻害薬

食物および胆汁中のコレステロールの小腸からの吸収を阻害します。

その他、胆汁中へのコレステロールの排泄を促進し体外への排泄を促すお薬や、中性脂肪値を下げるお薬などもあります。

薬物療法の注意点

投与を中止すると脂質の値は元の値に戻ることが多いので、自己判断による休薬・中断は良くありません。

● 服薬はしっかり継続しましょう ●

定期的に病院・診療所で受診し、医師の指導に従って治療に取り組めば、血液中の脂質の値を適正な範囲内に調節し、その値を保っていくことは可能です。

病気や治療についての詳しい情報は、WEBサイトにも掲載しています。

URL : <https://acve-navi.jp/>

再発予防ガイド ACS



(2023年1月作成)MH-Σ